Kobe University Repository : Kernel

PDF issue: 2025-07-06

第6章　地域連携研究と研究成果の発信

木村，修二

(Citation)
歴史文化に基礎をおいた地域社会形成のための自治体等との連携事業,19（2020（令和2）年度事業報告書）:54-55

(Issue Date)
2021-03-22

(Resource Type)
report part

(Version)
Version of Record

(URL)
https://hdl.handle.net/20.500.14094/81013433

第6章
地域連携研究と研究成果の発信

地域連携センター年報『ＬＩＮＫ【地域・大学・文化】』の刊行

2020年11月20日付で第12号を発行した。特集「地域歴史遺産を未来につなぐために―阪神・淡路大震災と、地域の取り組みから考える―」（論考4本）を組んだほか、松下正和氏の協力を得て小特集「襖・屏風下張り文書の保全と活用―住民参加型事例を中心に」（論考4本）設けることができた。そのほか、史料紹介1本、フィールドリポート4本、時評・書評・展示評を1本、「LINKを読む」を2本掲載し、ページ数は164頁となった。

特集「地域歴史遺産を未来につなぐために―阪神・淡路大震災と、地域の取り組みから考える―」
- 編集委員会（井上舞）「特集にあたって」
- 佐々木和子「阪神・淡路大震災を残すために」
- 吉川圭太「阪神・淡路大震災の記録と記憶の継承に向けて―大木本美通氏の記録写真を通して―」
- 石松崇「地域の記憶をつなぐために―香美町無住化集落の場合―」
- 大槻守「地域の歴史を伝える―中学校と連携して―」

史料紹介
- 前田結城「明石市立文化博物館所蔵黒田家文書「戊辰年正月出京心覚」

小特集「襖・屏風下張り文書の保全と活用―住民参加型事例を中心に」
- 松下正和「小特集にあたって」
- 尾立和則「下張り文書研究―市民参加型事業の現状―」
- 山中さゆり・小山万里「真田宝物館における襖下張り文書整理活動について」
- 竹本敬市「襖の下張文書調査から知る郷土の歴史―佐用郡地域史研究会の活動を通して―」
- 山内利秋「南九州、特に宮崎における襖下張り文書剥がしワークショップでの市民参加について考える」

フィールドリポート
- 内田雅夫「最近の住吉歴史資料館の活動について」
- 河野克人「地域のお宝をどうすればよいか―地元に残る古文書題材として―」
- 東野将伸「岡山史料ネットによる水損史料レスキュー・クリーニング作業の現状」
- 高崎章子「地方博物館の設計と運営にこめた想い―文化財保護の大切さをつたえるために―」

LINKを読む
- 能川泰治「「インタビューシリーズ　歴史研究の隣人たち　第一回」に寄せて」
- 増記隆介「「家じまい」と美術史」

時評・書評・展示評
- 大国正美「リニューアルされた神戸市立博物館」

活動報告
- 加藤明恵「住吉呉田・吉田家『聆濤閣集古帖』の研究と報告会」
- 吉川圭太「「歴史文化資料保全の大学・共同利

用機関ネットワーク事業」における神戸大学拠点の取り組み」
- 井上舞「兵庫県文化遺産防災研修会－二〇一九年度開催分の概要と課題―」
- 木村修二「人文学研究科架蔵文書群の紹介（9）」
- 松本充弘「収蔵文書一覧（2019 年度購入分）」

（文責・木村修二）

地域連携センタースタッフによる日本学術振興会科学研究費助成事業研究

- 2019 年度～ 2022 年度科学研究費助成事業・若手研究（B）「近世公家領における領主支配の研究―近衛家領伊丹郷町を事例に―」（研究代表者・加藤明恵）
- 2018 年度～ 2020 年度科学研究費助成事業・研究活動スタート支援「天保～安政期における平野郷町の改革と領主支配」（研究代表者・松本充弘）
- 2020 年度～ 2022 年度科学研究費助成事業・基盤研究（C）「日本中世の地域秩序および地域政治史の展開に関する研究－播磨国を中心に－」（研究代表者・市沢哲）

講演会・市民講座等

いなみ野学園での講義

2020 年 9 月 17 日、いなみ野学園において、「兵庫の偉人－柳田國男とその兄弟－」と題する講義を行った。

（文責・井上舞）

神崎郡連合区長会研修会での講演

2020 年 11 月 17 日、福崎町エルデホールにおいて、「地域の「たから」を掘り起こす～地域歴史遺産を活用したまちづくり～」と題した講演を行った。

（文責・井上舞）

姫路市立生涯学習大学校での講義

2021 年 2 月 12 日、姫路市立生涯学習大学校において、「江戸時代の村びとのくらし～くずし字に親しもう～」と題した講義を行った。

（文責・室山京子）